

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年4月25日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670600123
法人名	特定非営利活動法人 ケアサポートはんず
事業所名	グループホーム 桃の家
所在地	鹿児島県阿久根市山下4452番1 (電話) 0996-72-3751
自己評価作成日	平成23年3月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaken-shakyo.jp/kohyo
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成23年4月12日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- 自然豊かな環境で自由に生活してもらっている。
- 管理栄養士が献立作成や調理指導を行い、食事の時間が一番楽しくなるように、食事内容や味付けにも工夫し、利用者の健康を保持している。
- 利用者一人ひとりの有する能力に応じた自立支援を行える職場環境に努めている。
- 可能な限り、スタッフは黒子になり黙視的接近に努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・山間の地域に位置し豊かな自然に囲まれた環境で、四季折々の季節の移り変わりを感じながら生活を送っている。
- ・地域活動に地区住民として加入し、交流が豊かで役割を担って活動している。近くの小学校の行事や地域の行事などにも参加し、地域住民にもホームのバイキング料理行事に参加してもらい交流に努めている。また、認知症予防についての情報提供をしたり、敷地内から出る豊富な自家井戸水を地域の人々に提供したりして、交流を深めている。
- ・利用者と職員と一緒に食卓を囲み、美味しい物を楽しく食べられるように、食材の仕入れにこだわっている。また、調理の得意な職員も多く、話題豊かな食卓となっている。
- ・運営者・職員ともにサービスの質向上に前向きで、外部研修や資格取得研修に積極的に取り組んでいる。
- ・災害対策に積極的に取り組み、東日本大震災から問題点を検証して、具体的な対策に活かそうという姿勢が見られる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝の申し送りの中で理念について管理者より話がある。その後、意見交換をしている。	申し送りやミーティング時などに、具体的なケアについて意思の統一を図り、事業所理念の共有と実践に励んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	区の行事にも参加させてもらい、地域の小学校にも出かけていき交流を図っている。	地区住民として加入し、役割分担を担っている。学校行事や節祭・毘沙門祭等の地域行事などに参加し、地域住民にもホームのバイキング料理行事に参加してもらい、交流に努めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議等で認知症について意見交換をしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回必ず行っている。利用者の状況について報告をしたり、スタッフの意見発表も行っている。	運営推進会議を定期的に行い、地域代表・警察・消防関係・家族代表などが参加している。前回の運営推進会議で取り上げられた検討事項についてその経過を報告し合い、ひとつひとつ積み上げている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	運営推進会議に出席して頂き、事業所の取り組み様子等を伝え、担当者と連携を取っている。	市の担当者とは、日頃から認定更新などの機会に利用者の暮らしぶりを伝えたり、地域防災関係の情報提供を受けたりして、連携に取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	日中は施錠しておらず中庭の出入りなどは本人に任せ、見守りを行っている。 身体拘束しないケアを行っている。	日中は居室・玄関に施錠はされていない。中庭に面して居室からウッドデッキが設置され、出入りは自由になっている。外出も見守り、さりげなく声をかけて安全面に配慮しながら、本人の意向にそった自由な暮らしを支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	運営理念をもとに申し送りの中で管理者よりケア・接し方等の話し合いをしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	制度について学ぶ機会は持たれていないが、資格取得の際に制度については認識している。 今後も活用できるよう支援はしていく。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に重要事項説明書・契約書により説明を行っている。疑問については随時受け付けている。改定時は家族会を開催している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>入所時、面会時に家族の希望を伺っている。申し送り等により職員に伝え共有している。</p>	<p>面会に来られた家族からの意見や要望など、気軽に聞ける雰囲気作りをしている。要望や意見があれば申し送りなどで報告し、管理者・職員が共有し運営に反映している。運営推進会議などで外部への報告もしている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>その都度意見は伝えている。必要により対応してもらっている。朝のミーティングに於いてスタッフより聞く機会を設けている。</p>	<p>管理者は、会議やミーティングの時に、職員の意見や提案を聞く機会を設け、コミュニケーションを図っている。また、職員からの個別の相談には、具体的かつ適切にアドバイスをしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>希望休を優先している。休憩時間を必ずとる。資格の取得に向けた情報交換をスタッフ間で行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修に参加し、復命書等で全職員が情報を共有している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修の案内があると申し送られ出席を促される。 実践者研修等も意欲的に申し込み情報交換を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所時に聞き取りを行って記録に残している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所時に聞き取りを行っている。また、面会時にお気付きのことはありませんか？等の声かけをしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所前に聞き取り調査を行い、本人の状態を見る。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者のニーズを把握し、ニーズに合ったケアをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>施設での状態に変化があれば家族に電話などで報告をするようにしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>家族から面会制限ない限り知人との交流をしている。 法事等で外出・外泊されている方もいる。</p>	<p>地域で暮らす馴染みの人々との関係を継続できるように、隣接のデイサービスを交流の場に提供してもらっている。また、家族の協力をもらい、法事など馴染みの人に会えるように外出支援をしている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者同士の交流を見守っている。トラブル等問題が生じた場合には居室移動など工夫している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>契約が終了しても家族から連絡があれば相談や支援に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	担当者会議を定期的に行い、希望や意向の把握に努めている。	日々の関わりの中で様子を観察し、言葉や表情などから意向の把握に努めている。家族や関係者からの情報も得るように努めて、本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	バックグラウンドアセスメント 居宅介護支援事業所との連携		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活リズム・生活変化シートに詳しく記録し、職員が現状を把握できるようにしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎朝の申し送り時に変化があれば介護計画の見直しを行っている。	入居の時に情報収集し、その後の状況や様子などの変化などを把握している。家族が訪問した時に話し合っって計画を作成している。変化や要望があれば、朝のミーティングなどで報告し、見直しが必要であればプランの見直しをしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>申し送り時、職員間でケアプランの見直しを行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>遠方に家族がおられる方の支払代行や、生活保護の方の通帳管理等行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域資源の把握はしていないが利用者の状態に応じて支援して行くことは可能である。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>家族や本人の希望するかかりつけ医への受診も行っている。2週間に1回定期的な往診がされており、往診の前日にホームから医師へ1人1人の情報提供している。</p>	<p>本人および家族の希望するかかりつけ医での受診を支援している。2週間に1回定期的な往診がされており、かかりつけ医との連携はホームも充分とれている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	その都度伝え、ドクターにつないでもらっている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	その都度、医療機関の連携室と情報交換している。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	入所時も説明を行い、重度化した場合や、終末期になった時に、ドクターからも家族に説明をしてもらっている。	入居時に、重度化や終末期についてホームの考え方を家族に説明し、同意をもらっている。家族の殆どが終末期をホームで送ることを望んでいる。これまでも看取りを行っており、早い段階で家族・医師・管理者・職員で話し合いが行われ、方針を共有している。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	簡易処置（鑷子の使い方や消毒の仕方）の指導を管理者（看護師）から学んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>職員が交代で災害訓練を実施し、利用者にも参加していただいている。地域の方にも災害時と同様の体制をとっていただいている。</p>	<p>マニュアルを作成し、消防署の立ち会いの防災訓練を年1回、自主訓練を年2回行っている。毎月1回は消防署に申請して、夜勤者を中心に自動通報装置で通報訓練をしている。食料の備蓄は常に1週間分がある</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩であることを常に自覚し、思いやり・温もりのある声かけを心がけている。	利用者の尊厳とプライバシーに配慮しながら、入浴・トイレ・食事等の介助などを工夫しながらさりげなく支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	手や口を出しすぎず、黙視的接近に努めている。 黒子に徹するようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人に寄り添い散歩等を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	月1回、美容師に来てもらい本人の希望を聞いて、本人に合ったヘアスタイルにしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員が毎回食事を共にしている。 嗜好も聞いている。	利用者と職員と一緒に食卓を囲んでいる。また、おいしく楽しく食べるように、嗜好調査を行い食材の仕入れにこだわっている。調理の得意な人に担当してもらい話題豊かな食卓となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事は管理栄養士が栄養バランスやカロリー計算をし献立を立てている。 食事・水分摂取量について記録し、少ない人には摂取していただけるよう促している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアをしている。 利用者一人一人に合わせた声かけ介助を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄を記録に残し、排泄リズムやパターンを活かし、食前・食後には声かけや誘導等一人ひとりに合わせた支援をしている。	自尊心に配慮し、トイレでの排泄を重視し、排泄観察表を活用して、トイレで排泄できるよう排泄の自立を支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	管理栄養士がバランスのとれた献立を立てている 便秘時には医師の指示に従っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	一人ひとりのタイミングに合わせてゆっくり入っていただけるよう支援している。	個々の希望を取り入れて意向にそった入浴ができるように支援している。入浴を拒む利用者には、言葉かけや対応の工夫等によって、一人ひとりに合わせた入浴支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入所時に起床・就寝時間を聞いて、本人に合わせている。必要に応じて午睡も取り入れている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬は利用者の状態に応じた支援を行い、症状の変化についてはその都度申し送りしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	掃除・洗濯物たたみ等、個々の能力に応じた役割をしてもらっている。デイサービスの音楽療法、習字教室、太極拳等積極的に参加している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>天気の良い日は戸外に散歩に出かけ気分転換を図っている。地域の行事等にも参加している。</p>	<p>日常的には、周辺の散歩など戸外に出かけられるように支援している。家族の協力をもらいながら、利用者の希望や楽しみに合わせて、自宅帰りや買い物等の外出支援をしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人がお金を持つことが難しいため、事務所で個人ごとに管理している。家族に小遣い帳のチェックをして頂き、本人の希望があれば家族に了解を得て、使えるようにしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>個人で居室に電話機を置いたり、公衆電話を利用し連絡が取れるように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節に応じた花を飾ったり手作りのカレンダーを一緒に手作りしたりして季節を感じてもらえるようにしている。</p>	<p>玄関は、スロープになっており、手すりがつき安心して出入りできる。共用の空間は明るく清潔で、窓からは遠く山や畑が見渡せる。またホールの一角が畳で、仏壇や千手観音像のコーナーになっており、落ち着いて生活できるよう工夫がなされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>テレビ前や廊下にソファを置き、利用者同士が会話を楽しんだりできる様にしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使いなれた物を持ち込んでもらっている。</p>	<p>居室の入り口には、入居者の名前と花の写真に花ことばが添えてある。家族との思い出の物や利用者の使い慣れた品物が持ち込まれ、それぞれの利用者が居心地よく暮らせるように配慮している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>カレンダー作りの色塗りをしていただいたり、日めくりカレンダーで日にちや季節の確認をしている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない